

腫瘍内科、第 1 内科、第 2 外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、手術で摘出された残余標本の検査と通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、掲示などにより情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ヒト非小細胞肺癌における上皮間葉移行関連蛋白質(twist, snail)と上皮接着分子 E-cadherin の発現に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院腫瘍内科

[研究責任者] 木下 一郎（北海道大学病院 腫瘍内科・講師）

[研究の目的]

非小細胞肺癌の治療法の開発のため、「癌細胞の浸潤、転移に重要な上皮間葉移行関連蛋白質(twist, snail)と上皮接着分子 E-cadherin」が癌組織の中でどのように働いているかを検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

非小細胞肺癌の患者さんで、昭和 51 年 4 月 1 日から平成 6 年 12 月 28 日の間に第 2 外科で手術治療を受けた方

●手術残余標本による検査

上記の期間で手術を受けた方から摘出されて残った標本を用い、「twist, snail 蛋白質」と上皮接着分子 E-cadherin に関する検査を行います。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、喫煙歴、組織型、分化度、病期、予後など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院腫瘍内科

電話 011-706-5551

担当医師 木下 一郎

FAX 011-706-5077